

ZOWAオリジナルプロジェクト「君が私をダメにする」公開台本

▼使用に関する注意事項

「君が私をダメにする」公式サイト(<https://fun.zowa.app/lp/kimidame/>)に公開されている利用規約を必ず「一読いただき、規約に沿って」利用ください。

第8話 「気になる先輩との野球拳」

【登場人物】

主人公^{：男}

サフリーマン 20台中盤 独身 モテない 先輩の付き合いで来た

憧れの先輩^{：女} 20歳後半 セミロング

黒髪目立つような格好はしていない ノリは良い 主人公の大学の先輩

寝ている後輩^{：男}

20歳後半 主人公の大学の先輩 憧れの女性上司と同期

主人公「あー…先輩…。この人寝ちゃいましたよ〜」

憧れの先輩「結構呑んだもんね〜ほっといていいんじゃない〜？」

主人公「まあそうですねー、先輩なんか歌いますー？」

憧れの先輩「んーどうしよっかな、ちょっと疲れちゃったかも」

(ちょっとした沈黙)

憧れの先輩「ねえ、なんかゲーム的なものやんない？」

主人公「えーなんですかね…野球拳とか？(笑)」

主人公「あ、じょうだ…」

憧れの先輩「やろっか」

主人公「え？」

憧れの先輩「やろっか野球拳」

主人公「え、え、野球拳知ってます？…じゃんけん負けたら脱いでいへやっです

や〜」

憧れの先輩 「知ってるよ〜良いじゃんスリリングで」

主人公 「え、ええ〜！〜！良いんですか！？」

憧れの先輩 「私じゃんけん強いからね〜」

主人公 「この世界で初めて野球拳に積極的な女性ですよッ！」

憧れの先輩 「そんなことはないでしょ〜」

主人公 「申し訳ないですけど、今日僕はオトナの階段を登らせていただきます

よッ！」

憧れの先輩 「ふふ、なに言ってるんだか〜」

主人公 「テンション上がってきた！〜！早速やりましょ！」

主人公・憧れの先輩 「じゃんけん」

主人公 「グー！」

憧れの先輩 「パー」

主人公 「ひっひっ！負けたあ！〜！くそ〜！」

憧れの先輩 「いえーいー力入りすぎだよ〜」

主人公 「くぅ〜！僕としたことが…！拳に全勢力を注いでしまいました。勢いつてのは勢いの方で勢力です。エロい方の精力ではないッスー…！」

憧れの先輩 「は〜い。ジャケット脱いで〜」

主人公 「冷静だが、それが良い。

先輩、これ男が脱いでも意味ないんですよー…！」

SE 衣擦れ音

憧れの先輩 「いやいや〜後輩くんの薄着も珍しくて…ますますおねーさん頑張

っちゃうよー」

主人公 「うっひょー…！…！たかぶつてきました…！」

主人公・憧れの先輩 「「じゃんけん」」

主人公 「パー…！」

憧れの先輩 「チヨキ…！」

主人公 「かぁ〜！また負けだぁ〜！」

主人公 「今は遅かったですー出すの遅いー遅いー反則！」

憧れの先輩 「言い訳乙〜イッテヨシ！」

主人公 「ゼロ年代のインターネットみたいになってるからー！」

憧れの先輩 「……良い例えだすね〜なかなか出ないよそれ」

主人公 「そんなことどうでも良いんですよ！」

憧れの先輩 「はいズボン脱いで〜」

主人公 「嘘だ！僕は現実を認められないー！」

憧れの先輩 「素直じゃない男は嫌いだな〜」

主人公 「だってー！…さっきまでの僕は先輩の…先輩の肌露出面積が増長して
く時間に期待してたのこー！」

憧れの先輩 「理系っぽいキモヲ出てるんや〜」

主人公 「自分が服を脱ぐことへの嫌悪感でドキドキしたくないよおーただ何か
に目覚めようー！」

憧れの先輩 「はいはい〜た〜た〜ぞろぞろね〜」

SE 衣擦れ音

主人公 「……提案があります」

憧れの先輩 「聞きましょう」

主人公 「倍プツシュだ……！2枚賭けで勝負だ……！」

憧れの先輩 「ほう……貴様の心意気……買った……！」

主人公 「よし……！僕はそこ」の寝ている木偶の坊の服を賭けます……！じゃん……！」

憧れの先輩 「おい、撤回だよ」

主人公 「お願いお願いお願い……！」

だつてもう僕下着とパンツしか無いんですよ

憧れの先輩 「それじゃ後輩くんだけノーリスクじゃん〜」

主人公 「一生のお願い……！」の通りです……！」

憧れの先輩 「もうくしょうがないんだからあ」

主人公 「この恩は一生忘れません……よおおおしー」

主人公・憧れの先輩 「じゃんけん」

主人公 「チヨキー！」

憧れの先輩 「グー」

主人公 「こいつマジでじゃんけんつええのかよー！」

憧れの先輩 「最初にそう言ったじゃん」

主人公 「最悪だ！最悪だよ！」

SE 衣擦れ音

主人公 「そのポンコツ野郎も下着とパンツになっちゃったー！」

憧れの先輩 「負ける気がしないね」

主人公 「これじゃ……これじゃ……うーん。男湯の脱衣所ですよー！」

憧れの先輩 「もう例えも激弱になってる」

主人公 「手加減してください」

憧れの先輩 「いやーなんかジャンケニストとしての血が騒いじゃって」

主人公 「聞いたこと無い言葉出てきた」

憧れの先輩 「ゾーンに入ってるのが自分でも分かるもん」

主人公 「野球拳でじゃんけんのゾーンの扉ってなんすかー!!」

憧れの先輩 「や、いや。じゃんけん」

主人公 「グー!!!」

憧れの先輩 「パー」

主人公 「じ…5連敗だと…」

憧れの先輩 「いやあーもう後輩くんの次の手が見えるもんね」

主人公 「ありえない…」の場面です。125%を引くなんて…」

憧れの先輩 「はい、じゃあその」の転がっているの脱がせちゃって」

SE 衣擦れ音

主人公 「もうダメだ…こんな千載一遇の機会を活かせなかった…」

憧れの先輩 「ちょ、ちょっと…もっさーっ！全裸じゃんー！」

主人公 「え、あホントだ。ショックすぎて世話になった」ツチの先輩を勝手に全裸にしたことに気づかなかった」

憧れの先輩 「全裸はさすがにまずいんじゃない…？ここカラオケだし…」

主人公 「う、うーん。そうですね…。一旦おしぼり置いておきましょうか」

憧れの先輩 「そうしよっか。てか私なんかお腹空いてきちゃったよー」

主人公 「気づいたらもうすぐ始発っすね」

憧れの先輩 「ね、牛丼食べにいかない？面白かったし奢ってやるから」

主人公 「うわーめっちゃ食べたいっす。あ、服着ていいっすか？」

憧れの先輩 「じゃあねえな。着ていいいぜ」

主人公 「あざっすー！」

SE 部屋を出ていく音

SE 衣擦れ音

寝ている先輩 「ったく、あいつら…お似合いだな。あーあー役者も疲れるもんだ

ぜんく「

寝ている先輩 「あつたなあ…俺にもあんな時期が…。

ふっ…上手くやれよ、後輩くん(くしゃみ)「

SE 電話が鳴る音

寝ている先輩 「あ、はい。はい、あ、大丈夫です。もう出ますー。はい、はい

寝ている先輩 「あ、いえ、すみません。あの、すべいききます。はい、すみません。

はい、大丈夫です。はい。はい。あ、はい、大丈夫です。

(遠くなっていく声)「